

助成事業実施報告書

団体名 日野団塊世代広場

代表者・役職名 氏名 理事長 増永 廣幸

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

アクティブシニアのための地域活動支援事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

団塊世代の知識・経験を生かす仕組みと一緒に考えませんか・・・との市の呼びかけにより応募した有志により発足した団体です。設立:平成19年6月 会員数:24名。シニア世代の人たちが、明るく健康で地域に根を生やした生活が送れる仕組みと施策を企画・運営しています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

今後増えると思われるアクティブシニアを地域の担い手として支援・育成するためには、当団体のこれまで蓄積してきたノウハウをベースに、活動のトリガーとなる「きっかけの場」および活動継続を支援するための「たまり場」が必要と考えます。本事業により参加者を増やし地域社会支えあいの原動力となることを目的としています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

当団体の事務所(平山台ひろば)をサロン化して開放する。
 「きっかけの場」として ①気軽におしゃべりができる場所の提供 ②アクティブシニアの地域活動参加への相談窓口 ③講演会やイベントへの参加
 「たまり場」として ①趣味の交流・公開展示(俳句会、和の手芸等) ②当団体の実施事業の体験および参画(パソコン教室、太極拳、等) ③イベントの開催(講演会、野草観察会、昆虫観察会、等)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

<結果>「平山台ひろば」オープン日:2回/週(計画通り) イベント企画:7件/年(計画+1)
 「平山台ひろば」および「イベント企画」も計画通り実施できました。
 <成果>サロン化が前進したことと同時に、現会員が魅力的なイベント等を企画開催することにより当団体への活動参加者を増やすことが出来た。1908名→1948名
 <効果>設立10周年記念式典を開催し、100人以上の関係者を前に、超高齢化社会へ向けて、我々シニア世代が地域社会を支えあう原動力となることの宣言ができた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

<課題>設立10周年のレビュー結果から ①世代間を超えた繋りのある活動が必要 ②多様なライフスタイルの実践が必要 ... などが分かった。
 <今個の展望>今個の取り組みとして ①百草山を自然の豊かさを楽しみ自然の大切さを認識する「世代間交流の場」として活用します。 ②社会インフラの変化に取り残されないようにICT教育や健康増進活動を推進します。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし